

メトロポリタン・オペラ

The Metropolitan Opera

《メトロポリタン・オペラの歴史》

メトロポリタン・オペラは、世界中から集まる歌手、指揮者、作曲家、オーケストラ奏者、演出家、デザイナー、ビジュアル・アーティスト、振付家、ダンサーという最も創造的で才能あるアーティスト達の刺激に満ちた基地である。世界最高の歌手が集まる歌劇場として知られる Met は、1976 年以降ジェームズ・レヴァインが音楽監督を務めている。オペラ界屈指のオーケストラと合唱団を作り上げたのはレヴァインの功績である。

2006 年夏には、ピーター・ゲルプが Met の第 16 代総監督に就任した。

メトロポリタン・オペラは 1883 年に創立され、ブロードウェイの 39 番街に建設。その後、1996 年 9 月にリンカーンセンターに移転。メトロポリタン歌劇場は、最先端のハイテク施設を備えていた。

Met はいつの時代も世界最高のアーティストと契約してきた。創業時には、クリスティーン・ニルソンとマルセラ・センブリックが初シーズンを盛り立てた。続くドイツ語の時代はリリー・レーマンの独壇場で、ワーグナーのレパートリーを中心に、彼女が歌うと言った作品のすべてがレーマンに委ねられた。1890 年代には、ネリー・メルバとエマ・カルヴェがレシュケ兄弟とスポットライトを分かち合い、さらにアメリカ人ソプラノのエマ・イームズとリリアン・ノルディカからも活躍した。エンリコ・カルーソーが Met に登場したのは 1903 年。この名テノールは、生涯を通じて出演したすべてのオペラ公演のうち、実に半数以上を Met のステージに費やした。この頃にはアメリカ人歌手も Met の重要な担い手となり、ジェラルディーン・ファーラーやローザ・ポンセルが主要メンバーの仲間入りを果たした。また、1920 年代に頭角を現したローレンス・ティベットは、その後 Met が輩出することになる優れたアメリカ人バリトン勢の先駆となった。世界各地から優秀な才能を受け入れる伝統は今に引き継がれ、Met は現在、全米協議会オーディション とリンダーマン・ヤングアーティスト育成プログラム の運営を通じて、新人アーティストの発掘と育成に尽力している。

もっとも重要なオペラ作品のいくつかは、Met によってアメリカ初演が行われた。特にワーグナーの傑作は Met が国内初演を手がけた例が多く、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」、「ラインの黄金」、「ジークフリート」、「神々の黄昏」、「トリスタンとイゾルデ」、「パルジファル」がこれに該当する。この他に、「ボリス・ゴドノフ」、「ばらの騎士」、「トゥーランドット」、「シモン・ボッカネグラ」、「アラベッラ」の国内初演も Met が担った。また、プッチーニの「西部の娘」や「三部作」を始め、Met の世界初演によって世に送り出されたオペラが 31 作品ある。ジョン・コリアーノとウィリアム・ホフマンによる「ヴェルサイユの幽霊」(1991 年)、フィリップ・グラスの「航海」(1992 年)、ジョン・ハービスンの「グレート・ギャツビー」(1999 年)、トバイス・ピッカーの「アメリカの悲劇」(2005 年) タン・ドゥンの「始皇帝」(2006 年) などがその中に含まれる。1976 年以降、Met のレパートリーには新たに 37 作品が追加されてきたが、そのすべてがこうした努力の賜物なのである。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

2006年12月、Metは世界中の映画館で高画質ライブ中継を行う《ライブビューイング》を開始した。シリーズは当初6回から2010/11年シーズンには12回に拡大し、今では46ヶ国1,500以上の会場で実施されている。

(2010年12月)

【これまでのメトロポリタン・オペラ日本公演】

◆1975年 《椿姫》《ラ・ボエーム》《カルメン》 東京・大阪・名古屋

◆1988年《ホフマン物語》(演出：オットー・シェンク) 東京・名古屋・大阪

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

プラシド・ドミンゴ、エリー・ミルズ/マルティーン・デュピュイ/ロバータ・アレグザンダー、
スーザン・クイットマイヤー、ジェイムズ・モリス

《フィガロの結婚》(演出：ジャン＝ピエール・ポネル) 東京・大阪

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

ジョン・チーク、キャスリーン・バトル/ヘイ＝キョン・ホン、トーマス・ハンブソン、キャロル・
ヴァネス

《イル・トロヴァトーレ》(演出：ファブリツィオ・メラーノ) 東京・名古屋

指揮：ジュリアス・ルデール

フランコ・ボニゾリ、アプリーレ・ミッロ、シェリル・ミルンズ、エレナ・オブラストウォワ

《メトロポリタン歌劇場スペシャル・コンサート》 東京

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

キャスリーン・バトル、プラシド・ドミンゴ

◆1993年

《仮面舞踏会》(演出：ピエロ・ファッジョーニ) 横浜・東京

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

プラシド・ドミンゴ、アプリーレ・ミッロ、ファン・ポンス/ウラジーミル・チェルノフ

《愛の妙薬》(演出：ジョン・コプリー) 横浜・東京

指揮：エドアルド・ミュラー

キャスリーン・バトル/ユン・オク・シン、ルチアーノ・パヴァロッティ、ポール・プリシュカ、
ジーノ・キリコ/マーク・オズワルド

《ワルキューレ》(演出：オットー・シェンク) 東京

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

ゲイリー・レイクス、ザビーネ・ハス、ギネス・ジョーンズ、ジェイムズ・モリス、オーゲ・ハウ
グランド

《メトロポリタン歌劇場管弦楽団特別コンサート》東京
指揮：ジェイムズ・レヴァイン

◆1997年

《カヴァレリア・ルスティカーナ》《道化師》(演出：フランコ・ゼッフィレリ) 名古屋・東京
指揮：ジェイムズ・レヴァイン
マリア・グレギーナ、ファビオ・アルミリアート、ブルーノ・ポーラ
ダニエラ・デッシー／エリザベス・ホレクイ、プラシド・ドミンゴ、フアン・ポンス

《トスカ》(演出：フランコ・ゼッフィレリ) 名古屋・横浜・東京
指揮：ジェイムズ・レヴァイン
キャロル・ヴァネス／マリア・グレギーナ、ルチアーノ・パヴァロッチィ／ファビオ・アルミリア
ート、ジェイムズ・モリス

《カルメン》(演出：フランコ・ゼッフィレリ) 名古屋・東京
指揮：プラシド・ドミンゴ
ワルトラウト・マイヤー、ルイス・リマ、アンジェラ・ゲオルギュー、セルゲイ・レイフェルクス

《コシ・フアン・トゥッテ》(演出：レスリー・ケーニック) 東京
指揮：ジェイムズ・レヴァイン
キャロル・ヴァネス、スザンヌ・メンツァー、ジェリー・ハドレイ、ドウェイン・クロフト、トーマス・アレン

《メトロポリタン歌劇場管弦楽団&合唱団 特別コンサート》東京
『ヴェルディ：レクイエム』 『ファウストの劫罰』
指揮：ジェイムズ・レヴァイン

◆2001年

《サムソンとデリラ》(演出：エライジャ・モシンスキー) 大津・名古屋・横浜
指揮：ジェイムズ・レヴァイン
プラシド・ドミンゴ、オリガ・ボロディナ／イリーナ・ミシュラ

《リゴレット》(演出：オットー・シェンク) 大津・東京
指揮：ジェイムズ・レヴァイン
ルース・アン・スウェンソン、フアン・ポンス、ラモン・ヴァルガス

《ばらの騎士》(演出：ナサニエル・メリル) 名古屋・横浜・東京

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

指揮：アンドリュー・デイヴィス

ルネ・フレミング、スーザン・グラハム、ハイディ・グラント・マーフィー、フランツ・ハウラー
タ

《メトロポリタン歌劇場管弦楽団&合唱団 特別コンサート》東京

『グレの歌』 『ヴェルディ：レクイエム』

指揮：ジェームズ・レヴァイン

◆2006年

《椿姫》(演出：フランコ・ゼッフィレリ) 西宮・東京

指揮：パトリック・サマーズ

ルネ・フレミング、ラモン・ヴァルガス、ディミトリ・ホロストフスキー

《ドン・ジョヴァンニ》(演出：マルト・ケラー) 西宮・東京

指揮：アンドリュー・デイヴィス

アンナ・ネットレプコ、アーウィン・シュロット、ルネ・パーペ、マシュー・ポレンザーニ、メラニー・ディーナー、マグダレナ・コジェナー、セルゲイ・コプチャク、ジョナサン・レマル

《ワルキューレ》(演出：オットー・シェンク) 東京

指揮：クリストフ・エッシェンバッハ、アンドリュー・デイヴィス

プラシド・ドミンゴ、デボラ・ヴォイト、デボラ・ポラスキ、ジェームズ・モリス、ルネ・パーペ

《メトロポリタン歌劇場管弦楽団特別コンサート》東京

指揮：アンドリュー・デイヴィス

ルネ・フレミング

◆2011年

《ラ・ボーエム》(演出：フランコ・ゼッフィレリ) 東京・名古屋

指揮：ファビオ・ルイジ

バルバラ・フリットリ、スザンナ・フィリップス、ピョートル・ベチャワ、マリウシュ・クヴィエ
チェン、エドワード・パークス、ジョン・レリエ、ポール・プリシュカ

《ランメルモールのルイタ》 (演出：メアリー・ジーマーマン) 東京

ディアナ・ダムラウ、ロランド・ヴィラゾン、アレクセイ・ドルゴフ、ピョートル・ベチャワ、ジ
ェリコ・ルチッチ、イルダール・アブドラザコフ

《ドン・カルロ》 (演出：ジョン・デクスター) 東京・名古屋

マリーナ・ポプラフスカヤ、エカテリーナ・グバノヴァ、ヨンフン・リー、ディミトリ・ホロスト
フスキー、ルネ・パーペ、ステファン・コーツァン

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ
<http://www.japanarts.co.jp>
〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6
TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION
<http://www.japanarts.co.jp>
2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,
Tokyo JAPAN 150-8905
TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

The Metropolitan Opera

The Metropolitan Opera, now in its 127th season, is a vibrant home for the most creative and talented artists, including singers, conductors, composers, orchestra musicians, stage directors, designers, visual artists, choreographers, and dancers from around the world. Known as the venue for the world's greatest voices, the Met has been under the musical direction of James Levine since 1976. Maestro Levine is credited with having created one of opera's finest orchestras and choruses.

In the summer of 2006, Peter Gelb became the Met's 16th General Manager. Under the leadership of Gelb and Levine, the Met has been elevating the company's theatrical standards by significantly increasing the number of new productions, staged by the most imaginative directors working in theater and opera. The company is also securing increased commitments from the world's greatest singers. The Met has launched a series of initiatives to broaden its audience internationally; efforts have ranged from transmitting operas live in high definition to movie theaters around the world to hosting free Open Houses for the general public. To revitalize the company's repertory, the Met has pledged to present modern masterpieces alongside the classic repertory.

The Metropolitan Opera was founded in 1883, with its first opera house built on Broadway and 39th Street by a group of wealthy businessmen who wanted their own theater. In the company's early years, the management changed course several times, first performing everything in Italian (even *Carmen* and *Lohengrin*), then everything in German (even *Aida* and *Faust*), before finally settling into a policy of performing most works in their original language, with some notable exceptions.

The Metropolitan Opera has always engaged many of the world's most important artists. Christine Nilsson and Marcella Sembrich shared leading roles during the opening season. In the German seasons that followed, Lilli Lehmann dominated the Wagnerian repertory and anything else she chose to sing. In the 1890s, Nellie Melba and Emma Calvé shared the spotlight with the De Reszke brothers, Jean and Edouard, and two American sopranos, Emma Eames and Lillian Nordica. Enrico Caruso arrived in 1903, and by the time of his death 18 years later had sung more performances with the Met than with all the world's other opera companies combined. American singers acquired even greater prominence with Geraldine Farrar and Rosa Ponselle becoming important members of the company. In the 1920s, Lawrence Tibbett became the first in a distinguished line of American baritones for whom the Met was home. Today, the Met continues to present the best available talent from around the world and also discovers and trains artists through its National Council Auditions and Lindemann Young Artist Development Program.

Almost from the beginning, it was clear that the opera house on 39th Street did not have adequate stage facilities. However, it was not until the Metropolitan Opera joined with other New York

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

institutions in forming Lincoln Center for the Performing Arts that a new home became possible. The new Metropolitan Opera House, which opened at Lincoln Center in September of 1966, was equipped with the finest technical facilities.

Many great conductors have helped shape the Met, beginning with Wagner's disciple Anton Seidl in the 1880s and 1890s and Arturo Toscanini who made his debut in 1908. There were two seasons with both Toscanini and Gustav Mahler on the conducting roster. Later, Artur Bodanzky, Bruno Walter, George Szell, Fritz Reiner, and Dimitri Mitropoulos contributed powerful musical direction. James Levine made his debut in 1971, celebrating his 40th anniversary in the 2010?11 season, and has been Music Director since 1976. (He held the title of Artistic Director between 1986 and 2004.)

The Met has given the U.S. premieres of some of the most important operas in the repertory. Among Wagner's works, *Die Meistersinger von Nürnberg*, *Das Rheingold*, *Siegfried*, *Götterdämmerung*, *Tristan und Isolde*, and *Parsifal* were first performed in this country by the Met. Other American premieres have included Boris Godunov, *Der Rosenkavalier*, *Turandot*, *Simon Boccanegra*, and *Arabella*. The Met's 31 world premieres include Puccini's *La Fanciulla del West* and *Il Trittico*, Humperdinck's *Königskinder*, and five recent works?John Corigliano and William Hoffman's *The Ghosts of Versailles* (1991), Philip Glass's *The Voyage* (1992), John Harbison's *The Great Gatsby* (1999), Tobias Picker's *An American Tragedy* (2005), and Tan Dun's *The First Emperor* (2006). An additional 37 operas have had their Met premieres since 1976.

Hänsel und Gretel was the first complete opera broadcast from the Met on Christmas Day 1931. Regular Saturday afternoon live broadcasts quickly made the Met a permanent presence in communities throughout the United States and Canada.

In 1977, the Met began a regular series of televised productions with a performance of *La Bohème*, viewed by more than four million people on public television. Over the following decades, more than 70 complete Met performances have been made available to a huge audience around the world. Many of these performances have been issued on video, laserdisc, and DVD.

In 1995, the Met introduced Met Titles, a unique system of simultaneous translation. Met Titles appear on individual screens mounted on the back of each row of seats, for those members of the audience who wish to utilize them, but with minimum distraction for those who do not. Titles are provided for all Met performances in English, Spanish, and German.

Each season the Met stages more than 200 opera performances in New York. More than 800,000 people attend the performances in the opera house during the season, and millions more experience the Met through new media distribution initiatives and state-of-the-art technology.

The Met continues its hugely successful radio broadcast series?now in its 80th year?the

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

longest-running classical music series in American broadcast history. It is heard around the world on the Toll Brothers-Metropolitan Opera International Radio Network.

In December 2006, the company launched *The Met: Live in HD*, a series of performance transmissions shown live in high definition in movie theaters around the world. The series expanded from an initial six transmissions to 12 in the 2010-11 season and today reaches over 1,500 venues in 46 countries. The *Live in HD* performances are later also shown on public television, and a number of them have been released on DVD. In partnership with the New York City Department of Education and the Metropolitan Opera Guild, the Met has developed a nationwide program for students to attend *Live in HD* transmissions for free in their schools.

Other media offerings include Metropolitan Opera Radio on SIRIUS XM Satellite Radio, a subscription-based audio service broadcasting both live and historical performances, commercial-free and round the clock. *Met Player*, a subscription-based online streaming service available at metplayer.org, was launched in November 2008. It offers more than 300 Met performances, including *Live in HD* productions, classic telecasts, and archival broadcast recordings, for high-quality viewing and listening on your computer. The Met also provides audio recordings on demand through an online partnership with Rhapsody, and free live audio streaming of performances on its website once every week during the opera season.

In 2006, the Met launched a groundbreaking commissioning program in partnership with New York's Lincoln Center Theater, which provides renowned composers and playwrights with the resources to create and develop new works at the Met and at Lincoln Center's Vivian Beaumont Theater.

Other initiatives include the Arnold and Marie Schwartz Gallery Met, which displays the work of top contemporary visual artists; annual holiday entertainment offerings; a Rush Ticket Program offering discounted orchestra seats for \$20 on weekdays and \$25 on weekends; expanded editorial offerings in Met publications, on the web, and through broadcasts; and new public programs that provide greater access to the Met, including a series of Open House dress rehearsals, which are free to the public.

(December 2010)

2015/16 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.